

第17回おおたユニバーサルデザインのまちづくり区民推進会議
議事録要旨

令和元年年6月28日(金)
午前10時～正午
会場：大田区役所 11階
第五・第六委員会室

〔配布資料〕

- 資料1 おおたユニバーサルデザインのまちづくりパートナー活動
- 資料2 ユニバーサルデザイン合同点検(窓口サービス点検)について
- 資料3 ユニバーサルデザイン窓口サービス実践研修
- 資料4 平成30年度UDアクションプラン取組実績一覧

《資料番号なし》

- おおたユニバーサルデザインのまちづくり区民推進会議設置要綱
- 第3期おおたユニバーサルデザインのまちづくり区民推進会議委員
- 令和元年度 UD庁内推進委員会 委員名簿

《参考資料》

- 冊子「おおたUDライフ」
- 冊子「心のバリアフリーハンドブック」
- 冊子「大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針アクションプランVer. 2」

〔出席者〕

（区民推進会議委員）19名

東洋大学人間科学総合研究所 客員研究員 川内委員／東京大学准教授 松田委員／公募
大内委員／公募 勝又委員／NPO法人大身連 宮澤委員／大田区手をつなぐ育成会 橋
本委員／大田区精神障がい者家族連絡会 鬼頭委員／レモン ホームケアサービス 柳谷
委員／共に生きるまち大田 栗田委員／大森駅東地区近代化協議会 加藤委員／大田区自
治会連合会 小山委員／特定非営利活動法人 男女共同参画おおた 東委員／日本・ネパ
ール協力会 小林委員／大田区私立保育園連合会 三浦委員／大田区商店街連合会 鈴木
委員／大森学園高等学校 安達委員／東日本旅客鉄道株式会社 沖田委員／京浜急行電鉄
株式会社 大田委員／東京急行電鉄株式会社 後藤委員

（庁内推進委員）17名

福祉部長／まちづくり計画調整担当課長／企画調整担当課長／広聴広報課長（代理）／施
設保全課長／国際都市・多文化共生推進課長／産業振興課長（代理）／福祉管理課長／高
齢福祉課長／障害福祉課長／障がい者総合サポートセンター 次長／子育て支援課長／都
市開発課長／住宅担当課長／空港まちづくり課長／都市基盤管理課長（代理）／指導課統
括指導主事

（事務局）

福祉部副参事（地域福祉推進担当）／福祉管理課調整担当係長／福祉管理課調整担当職員
（傍聴者）3名

[次第]

1 開会

2 福祉部長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議題

(1) おおたユニバーサルデザインのまちづくり事業報告

① おおたユニバーサルデザインのまちづくりパートナー活動 【資料1】

② 「おおたUDライフ」の発行について

③ 「心のバリアフリーハンドブック」について

④ 平成30年度研修実施報告 【資料2・3】

⑤ 大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針アクションプランの平成30年度取組み実績一覧 【資料4】

(2) 大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針アクションプランVer. 2

5 会長 講話

6 事務連絡

7 閉会

(会長)

議題の4を進めていきたいと思えます。質問、ご意見については、事業報告後に時間を取ります。

—事務局より説明—

次第4 (1) おおたユニバーサルデザインのまちづくりの事業報告

① おおたユニバーサルデザインのまちづくりパートナー活動

- ・ 前回の区民推進会議以降に実施した「ユニバーサルデザイン合同点検」「ユニバーサルデザイン合同点検報告会」について報告
- ・ 参加していただいたUDパートナーの方からは様々な意見をいただいている。今後もUD合同点検や報告会を通し、継続的にUDのまちづくりを進めていく。

② 「おおたUDライフ」の発行について 報告

③ 「心のバリアフリーハンドブック」について 報告

④ 「ユニバーサルデザイン合同点検（窓口サービス点検）」について

- ・ 窓口整備状況点検と窓口サービス点検をとおして窓口サービスの改善を目指す。
- ・ 平成30年度は点検参加者に国際交流員（外国人）が新たに加わり、2箇所の特別出張所で実施した。

「ユニバーサルデザイン窓口サービス実践研修」について

- ・ 平成30年度新規の取組み
- ・ 障がい当事者を講師とした窓口サービスの研修を通して、職員がユニバーサルデザインの考え方を理解し、障がい者等への接遇について考えることで、窓口対応力

の向上を図る。

⑤ 「大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針アクションプランの平成 30 年度取組み実績一覧」 報告

(会長)

ありがとうございました。報告がありました件について、委員の皆様からご意見・ご質問をお願いします。

(委員)

UDパートナー活動の中で、六郷図書館の休憩室の中に設置された電話ができるスペースに車椅子が入れないという意見がありました。図書館を所管している部署と設計業者との間にUDに関する認識の差があるのではないのでしょうか。設計業者からは、電話スペースについては、車椅子利用者のために設計されていないとの回答がありました。

(福祉部副参事地域福祉推進担当)

六郷図書館の休憩室自体は、車椅子が入れるよう配慮されていますが、その中の電話スペースが狭くて実際に入ることができません。施設を所管する部署と整備を担当する部署の職員を対象とした研修等の機会を捉えて今後も引き続き意識付けをしていきたいと思えます。

(施設保全課長)

人材育成が重要な観点であると認識しています。ご指摘のあった電話スペースが車椅子利用者のためではないという回答は、UDに関する意識が低いことの表れだと思います。施設設計する職員の共通の課題として UDの意識を高めるよう取り組んでいるところで、今後も励んでいきたいと考えています。

(委員)

資料3のユニバーサルデザイン窓口サービス実践研修について、精神障害の家族も参加できるようにして欲しいと思えます。

(会長)

当事者主体の考え方から、精神障害者当事者の方の参加も考えていくべきでしょう。

(委員)

資料4の保育付講座や手話通訳の派遣などは、他にもあると思うので、区の実践すべてを網羅するのは難しいかもしれませんが、区が誰でも学べる場を作っているという事実をもっと区民へPRしていくべきではないでしょうか。

(福祉部副参事地域福祉推進担当)

子育て付講座や手話通訳付講座は区の事業でも一般的になってきています。すべてを網羅するのは難しいので、皆様にご報告する際には何らかの工夫をしてお知らせしていきたいと思えます。

(会長)

数値まですべて載せるのは難しいとは思いますが、項目のみでもいいので区民へPRしていくべきでしょう。

(委員)

UDパートナー活動の中で、羽田地域力推進センターについて、車いす用駐車スペースは改善されて不安が解消されてとてもよかったと思いました。同施設の車いす用以外の駐車スペースでは改善がされずに、高齢の方が杖をついて歩いている姿を見て、転倒の恐れがないのか心配になることもあります。全体的なUDとしてはまだまだ課題があるのではないのでしょうか。

(会長)

UDは、高齢者と障がい者だけではなくすべての人が対象である視点を忘れないようにというご指摘であると思います。

(委員)

総合学習の事業について、身体障がい・知的障がいの講座はありますが、精神障害は外れることが多いという現実があります。小中学生の時にいじめが原因で不登校になって精神障がいを発祥するケースが実際に多数あります。学校現場にいる職員にしっかりと教育して欲しいと思います。家族会としては学校と連携していきたいと考えています。

(指導課統括指導主事)

不登校になってしまう小中学生がいるのは事実です。要因はさまざまですが、人間関係のトラブルが心の傷となり、不登校になってしまうケースがあります。学校現場では、未然防止、早期発見・早期対応に重点を置いています。家族会との連携については今後検討していきたいと思います。

(会長)

相互に、会話が行われるようになればよいと思います。

—事務局より説明—

次第4 (2) 大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針
アクションプラン Ver. 2

(会長)

楽しく学べるユニバーサルデザインの教育推進について、先ほど委員からご意見のあった、精神障がいの方も参加できるように配慮して欲しいと思います。それでは質疑に入ります。ご意見のある方いらっしゃいますか。

(委員)

数値目標を指標として設定していますが、数値目標の点検の頻度と方法に関してはどのように考えているのでしょうか。

(福祉部副参事地域福祉推進担当)

この推進会議の場で年に1度報告し進行管理しながら進めます。また、区のHPにも掲載します。

(委員)

小中学校の総合的な学習の時間の回数の数値目標について、これは肢体と知的の講座の回数を合計したのでしょうか。

(福祉部副参事地域福祉推進担当)

この数字は、身体障がい者理解と知的障がい者理解の講座の回数を合計したのになります。身体障がい者理解については毎年度 30 回程度実施していますが、講座を担ってくださる講師の数が少なく、これが限度だと考えていますので、5年後の数値の増加分は知的の講座を想定しています。

(会長)

これに、精神障がい者理解の講座も入ってくると内訳が変わってくるかと思いますが、ぜひ精神障がい者理解の講座についてもよろしく願いいたします。

(委員)

UD実践講座は、昨年度までで終了と伺いましたが、今年度の予定はどのようになっていますか。

(福祉部副参事地域福祉推進担当)

これまで行ってきました地域におけるユニバーサルデザイン実践講座は昨年度で 18 特別出張所すべての地域で終了しました。今年度は、2020 オリパラのウェルカムボランティア向けに講座を実施します。

(委員)

アクションプランの中に発達障がいについての記述がありますが、広く一般区民が発達障がいについての理解を深めるきっかけとしては、区としてどのような取組みを考えていますか。

(障害福祉課長)

「発達障がいシンポジウム」を年 1 回実施しています。昨年度のテーマは、「ライフステージに通じた支援の必要性」というタイトルで実施し、多くの方に参加いただき広く周知を行いました。

(委員)

どのくらいの方が参加されていて、ニーズはどのようであったと把握されていますか。

(障害福祉課長)

参加人数は 210 名でした。当事者の家族の方をはじめ、毎年多くの方に参加いただいています。

(会長)

今のような意見を踏まえて、アクションプランについて進めていただきたいと思います。

—川内会長 講演—

(福祉部副参事地域福祉推進担当)

次回の区民推進会議は年明け 1 月を予定しています。日時・会場につきましては詳細が決まり次第ご連絡をさせていただきます。

以上を持ちまして、第 17 回おたユニバーサルデザインのまちづくり区民推進会議を終了いたします。本日は、ご多忙のところご出席くださいまして、ありがとうございました。